



セクターを超えた 協働の第一歩へ ようこそ



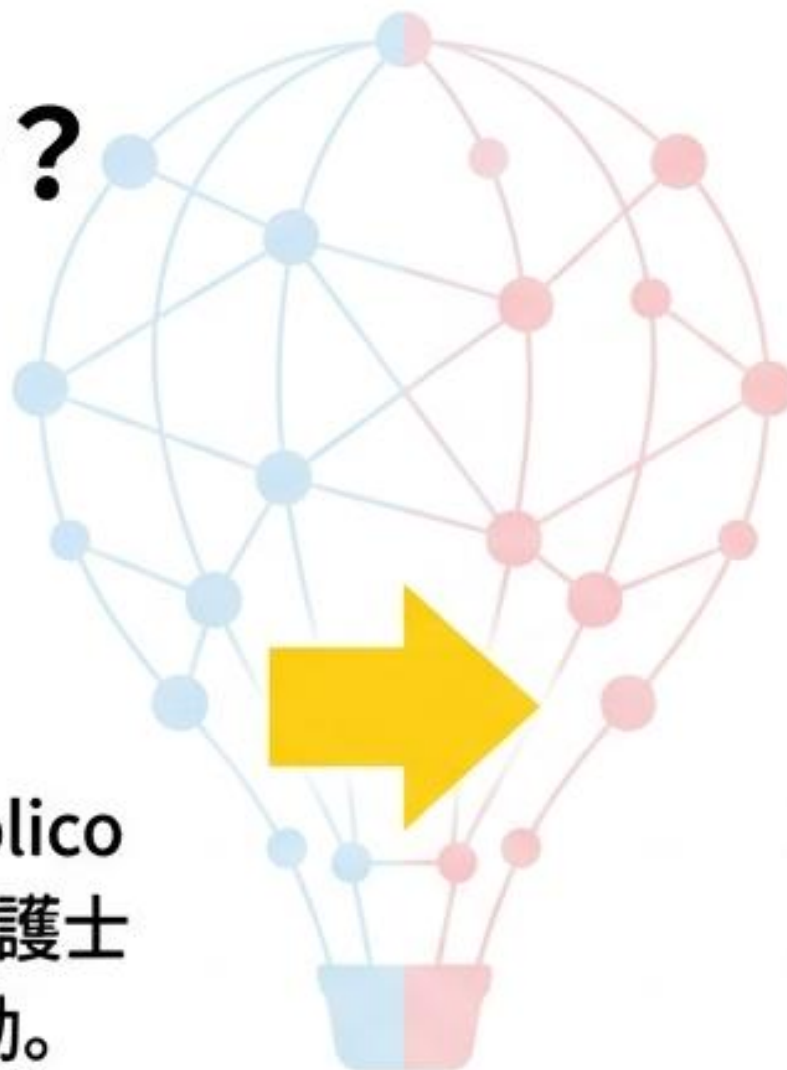
さがボノ「Social Wednesday」

秋山 翔太郎 (佐賀県CSO推進機構 代表理事 / 佐賀市市民活動プラザ長)

「プロボノ」とは何か？



語源はラテン語「Pro Bono Publico（公共善のために）」。元々は弁護士など限られた専門職の無報酬活動。



現代は「職業上の経験や専門知識を活かした社会課題解決のボランティア」。



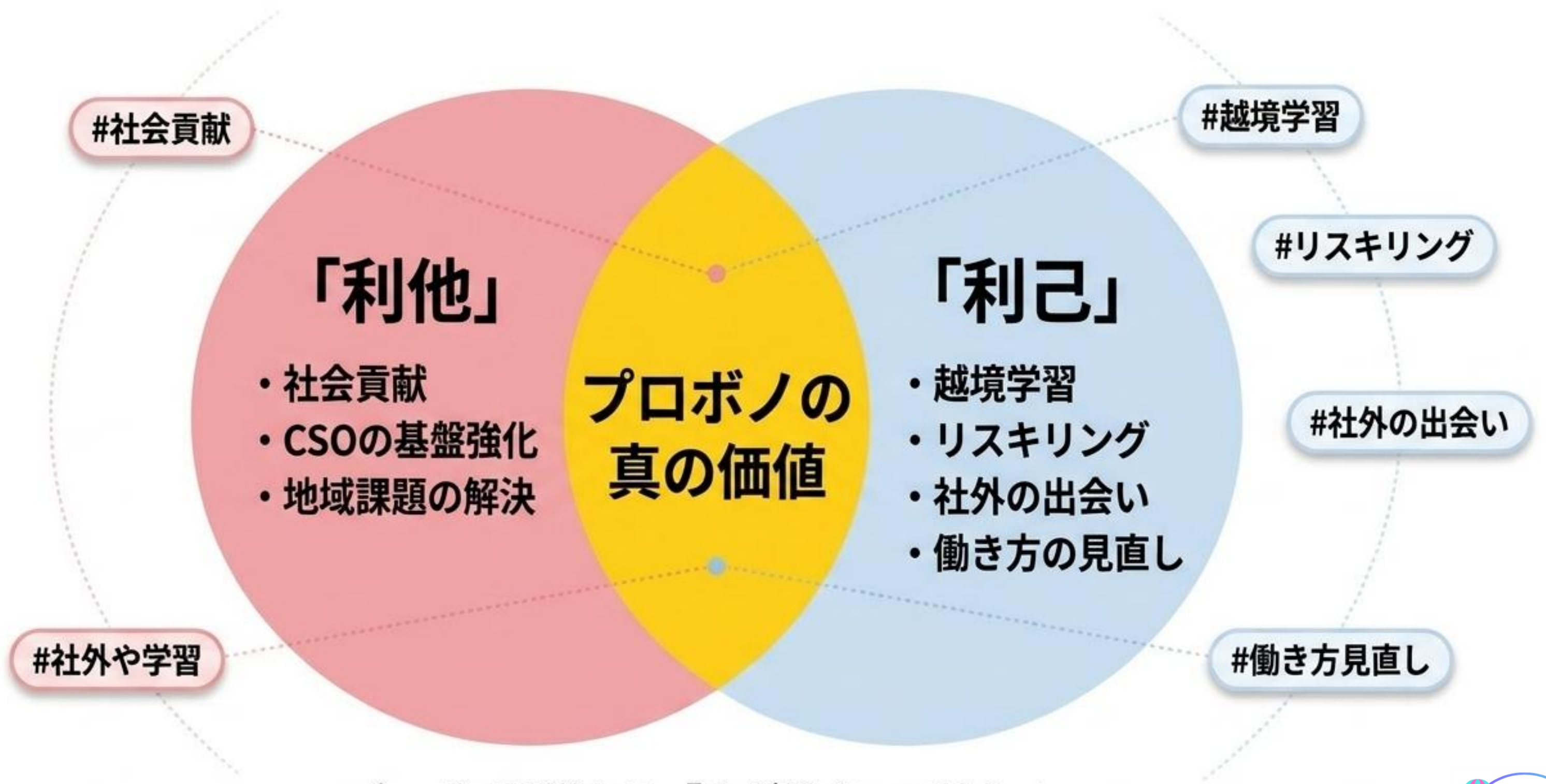
特別なプロフェッショナル
だけのもの



日常のビジネススキル（整理・調整・
対話力）がそのまま役立つ

「特別なスキルがない」と遠慮する必要はありません。
あなたの「当たり前の仕事力」が、NPOにとっては最大の武器になります。





プロボノは単なる「タダ働き」ではなく、
自身の腕試しや成長に繋がる「利他と利己のハイブリッド」な活動です。

なぜ、佐賀でプロボノなのか？



24.8%

佐賀県のボランティア参加率（令和3年度：全国2位）



59.4%

佐賀県職員の社会貢献活動率（平成28年度）

Insight Box

佐賀には「プラスワン運動（職場や家庭のほかに何かひとつ社会貢献活動を）」が根付いており、CSOサポートと協働の強力な素地がすでに存在しています。

佐賀県のエコシステム



GRANT

出会いと協働を生み出すプラットフォーム「GRANT」

1



10,000人以上

(登録プロボノワーカ数)

2



約2,500件

(マッチング実績)

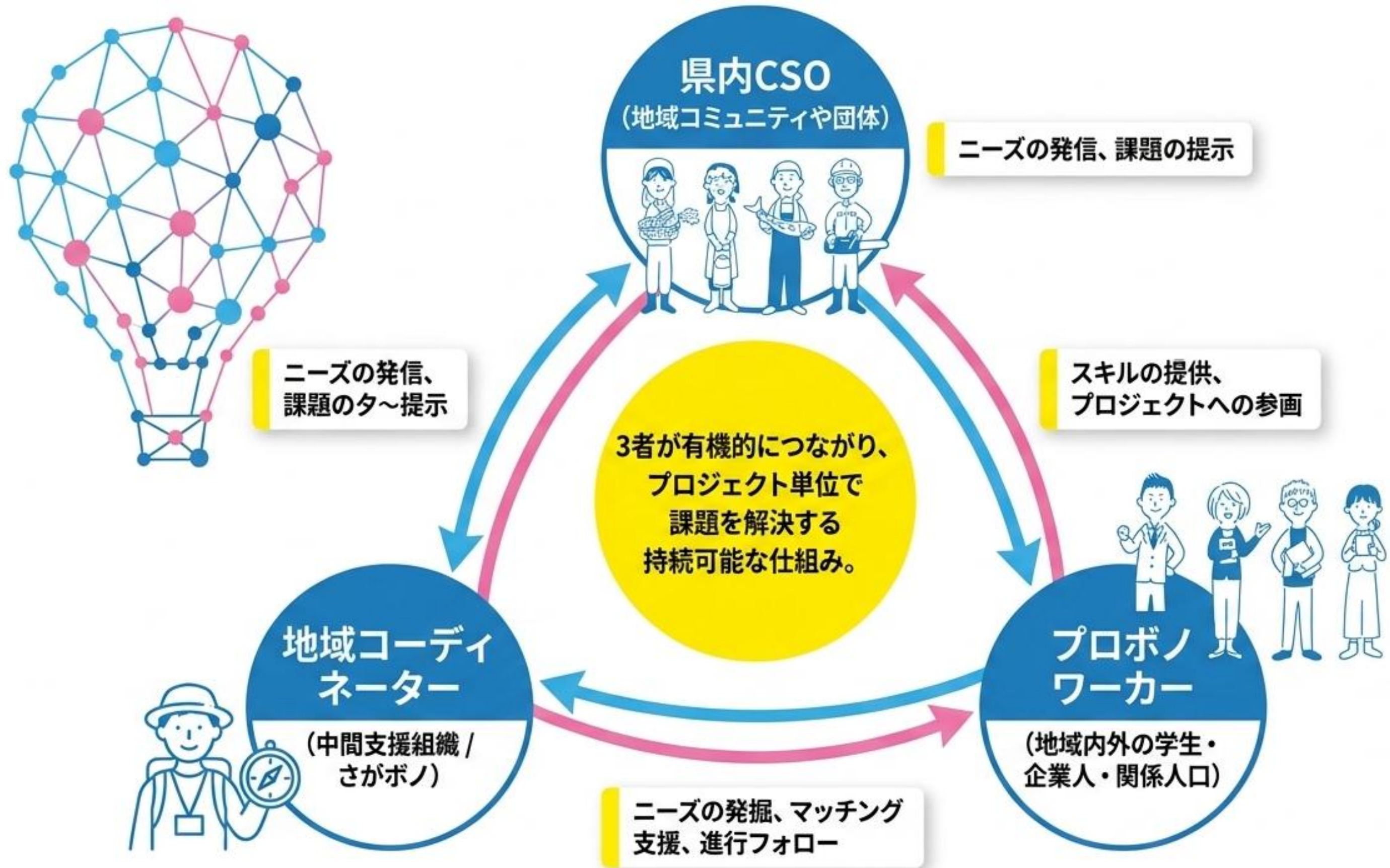
3



費用は無料

(CSOおよび参加者の利用料ゼロ)

NPOなどの地域団体と、スキルを活かしたい個人をオンラインでつなぐ
社会参加促進プラットフォーム。全国の多様な人材にアクセスできるインフラです。



佐賀発・協働のローカルエンジン「さがボノ」



ミッション

「佐賀×プロボノ」で、個人の得意なことを混ぜ合わせ、佐賀の地域貢献へ輪を広げる。

活動拠点

佐賀市市民活動プラザ & 唐津市厳木町（地域に根差した展開）。

ビジョン

個人・企業・行政・学校・金融機関など、あらゆるセクターが立場を超えて当たり前のように協働する社会へ。



佐賀県内でのプロボノ活用事例プロボノ活用事例

SNS・広報

かしまこどもフェス実行委員会（鹿島市）

イベントのInstagram投稿代行など、SNS上での広報活動をサポート。



Web制作

NPO法人 KARATSU（唐津市）

フードバンク事業に関連した公式ホームページの立ち上げ支援。



デザイン

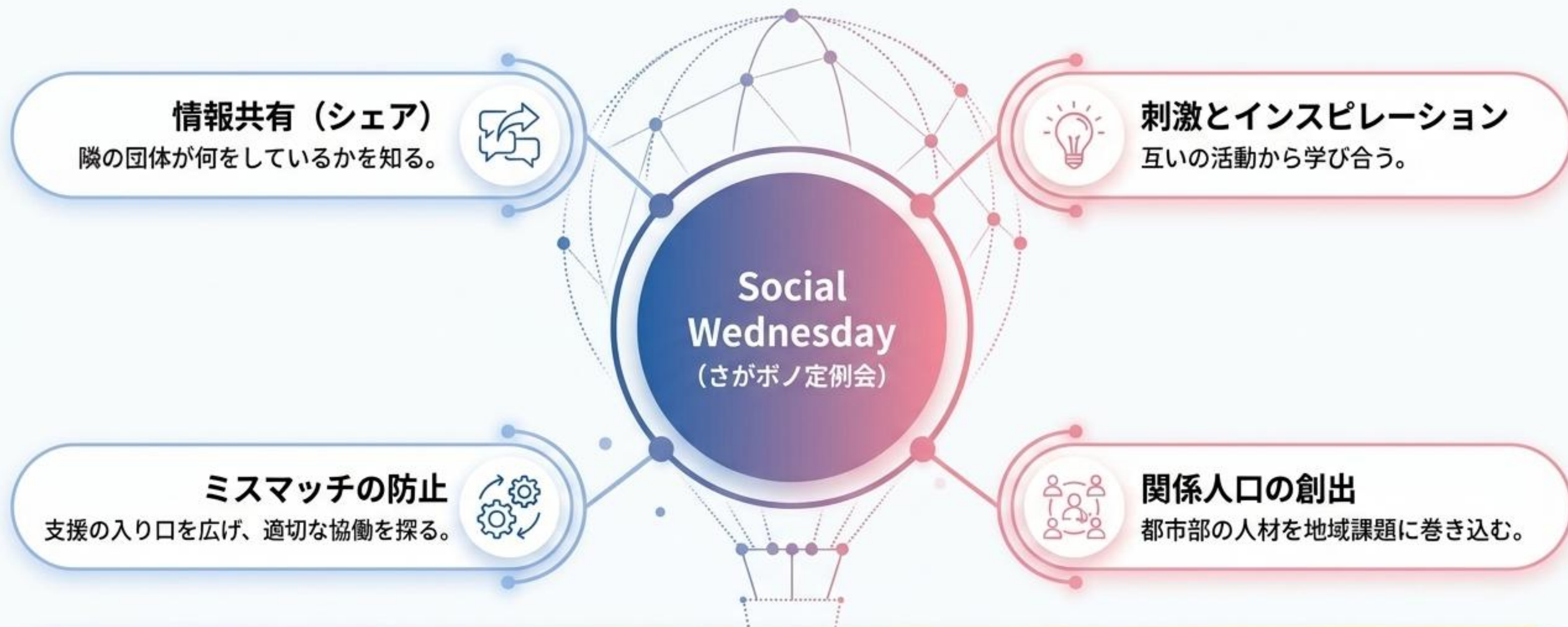
NPO法人 WeD（唐津市）

高校生の活動を応援する団体の活動紹介パンフレットをデザイン。



専門スキルを持つ多様な人材が、すでに佐賀の課題解決に伴走しています。

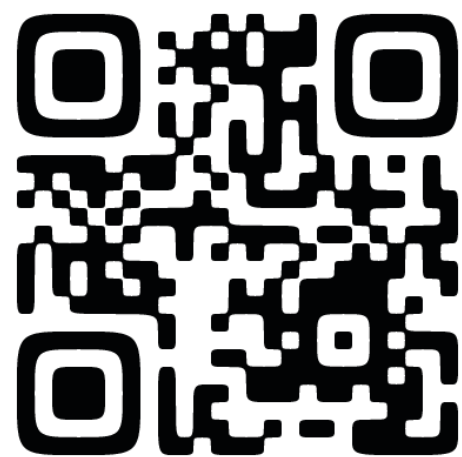
毎月開催のリアルな交差点「Social Wednesday」



単なる報告会ではなく、多様なセクターが集い、
佐賀から始まる新たな社会変革のモデルを生み出すハブ(拠点)です。

次は、あなたの「当たり前」を佐賀の力に。

GRANTへ登録し、
プロジェクトを探してみませんか？



参加者登録は無料です



“ **誰もが持つスキルが、地域を変える上昇気流になる。** ”

(さがボノ)

